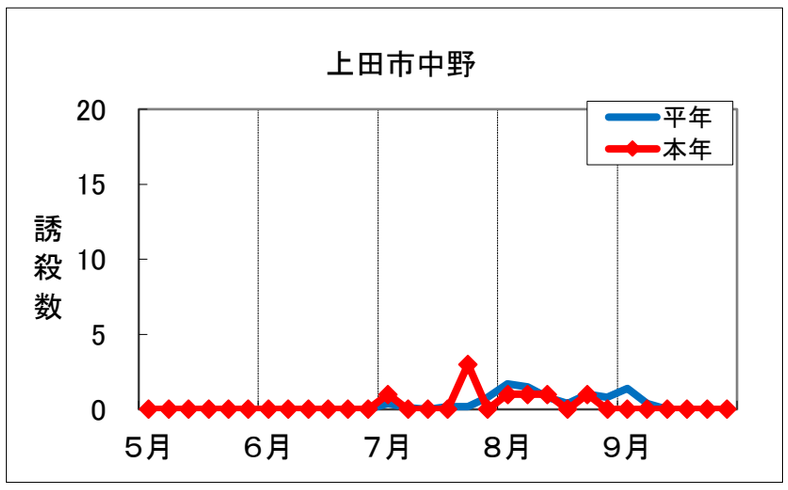
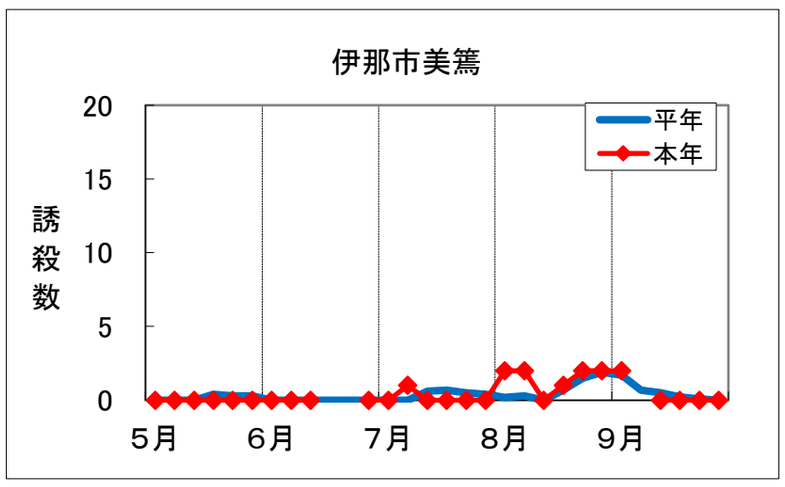
予察灯によるフタオビコヤガ（イネアオムシ）の誘殺消長
【令和８年・(2026年)】

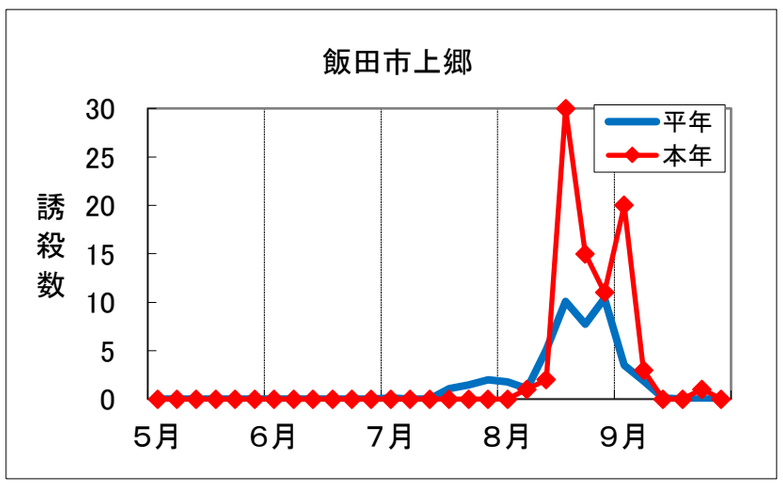


※平年：平成28年～令和7年(10年間)の平均

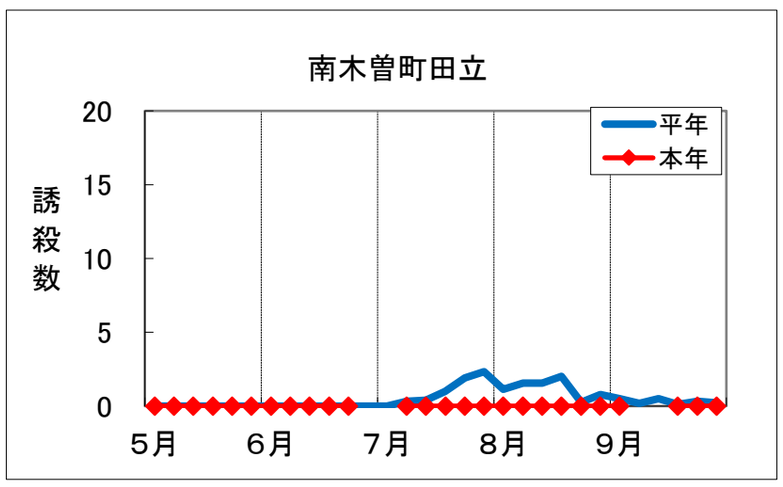
・上田市では、７月第１半旬に１頭が初誘殺されました。その後７月第５半旬は平年と比べ多く誘殺されましたが、７月第６半旬～９月第６半旬にかけては平年並で推移しました。
・伊那市では、７月第２半旬に１頭が初誘殺された。その後、７月第６半旬までは誘殺されませんでしたが、８月第１半旬～第２半旬にかけては平年と比べ多く誘殺され、８月第３半旬～９月第６半旬は平年並で推移しました（６月第４半旬～第５半旬及び９月第２半旬は予察灯の電球切れのため欠調）。
・飯田市では、８月第２半旬に１頭が初誘殺されました。その後、８月第３半旬以降は平年と比べ少ない誘殺でしたが、８月第４半旬～９月第１半旬にかけては平年と比べ多く、９月第２半旬～第６半旬は平年並で推移しました。
・須坂市では、６月第６半旬に１頭が初誘殺されましたが、その後９月第６半旬まで誘殺はありませんでした。
・その他の地点では、９月第６半旬まで誘殺はありません（安曇野市穂高では６月第２半旬、７月第４半旬～第６半旬及び９月第４半旬～第５半旬、南木曽町田立では６月第６半旬～７月第１半旬及び９月第２半旬～第３半旬は予察灯の電球切れのため欠調）。



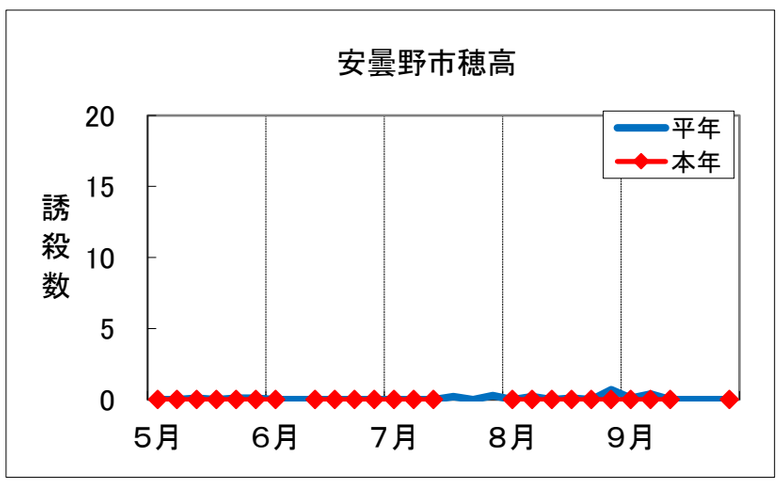
※平年：平成28年～令和7年(10年間)の平均



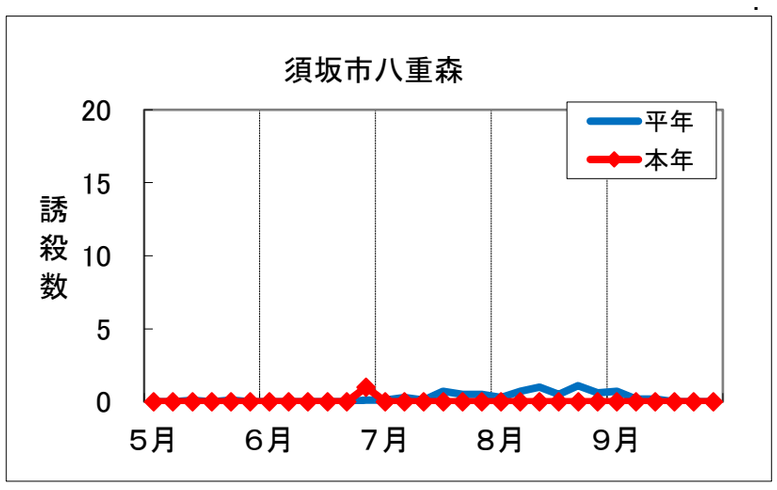
※平年：平成28年～令和7年(10年間)の平均



※平年：平成28年～令和7年(10年間)の平均



※平年：平成28年～令和7年(10年間)の平均



※平年：平成28年～令和7年(10年間)の平均

（参考）

１　発生生態

本県におけるフタオビコヤガ（イネアオムシ）の発生は、年３回が一般的です。標高の高い地域や、低温の年に発生が多くなります。蛹で越冬し、５月下旬に第１回成虫（越冬世代）が発生します。第１世代幼虫は６月中下旬に発生し、イネの葉を葉縁から台形に食害します。

上のグラフは予察灯で捕獲された成虫数です。

２　防除時期

平年の第１世代幼虫の防除は６月中下旬頃、第２世代幼虫の防除は７月中旬頃、第３世代（越冬世代）幼虫の防除は８月上旬頃です。